

令和8年度 第2回 崇化館地域会議 会議録

■日 時 令和8年6月16日（火） 午後6時30分～ 7時45分

■場 所 崇化館交流館 4階 第2会議室

■出席者 <委 員> 井口 貴視 井上 眞一 鈴木 雅之
高橋 通郎 玉谷 正美 塚田 泰久
都築 紀雄 西田 悠一郎 西村 温
福岡 明雄 藤井 康博 松山 純成
三宅 良彦

<交流館> 森波 かおり（館長）

<事務局> 石原 雅之（挙母事務所長） 加藤ひろみ（地域交流課担当長）

■欠席者 柘植 伸夫

- 次 第
- 1 開会 豊田市民の誓いの唱和
 - 2 会長あいさつ
 - 3 協議事項
 - （1）崇化館地区における「住民同士のつながり」について
 - （2）必要な「つながり」について
 - （3）市の事業として取り組むべきこと（地域会議で検討すること）

■議 事（要約）

3 協議事項

（1）崇化館地区における「住民同士のつながり」について

- ・地域と学校のつながりが薄い。挙母神社周辺はお祭りでつながりがある。朝日小学区ではつながりがもてる共同体験がない。こども会も解散しているし、つながりがないことを課題認識している。
- ・隣組と飲み会等をしているが、隣組とのつながりも大事
- ・自治区は子ども会、消防団とのつながりはあるが、中学生～大学生までのつながりがない。
- ・挙母まつりでつながりがあるが、他の地区は祭りがないのでつながりがないのでは。
- ・若い子が何かをすることを大人が支援する場がない。そういうコミュニケーションをとれる場がない。
- ・つながりがなくても困ったことはない。つながりはなくてもよいのでは。

（2）必要な「つながり」について

- ・元気できれいな街、それが「おらが街」で、住み続けたい街であることを次の世代にもつなげたい。そういうつながりが必要だと思う。
- ・やりたいことに対して、誰かに協力してもらえようなつながりが大事と考える。お互いに助け合うことができる状態にするためには、お互いを知ることがまず重要だが、現状はお互いを知ることが不足している。情報発信が不足していること、発信された情報を受け取れる仕組みが足りないと思う。
- ・自治区ごとで活躍できる中高生はいないが、中学校区単位なら人が集まるのではないか。自治区の活動を学生に広めてもらい、学生のボランティアが集まるように、ユースコーディネーターのような人がいるとよい。

＜今後の進め方について＞

今回の意見交換を基に、崇化館地区におけるつながりの必要性やターゲットを絞り込みながら取組内容を検討する。また、つながり以外のテーマについて議論が必要かどうかも検討する。

《今後の予定》

●令和8年度 第3回崇化館地域会議

日時：7月21日（火）18：30～

場所：崇化館交流館 4階 第2会議室